

鎌倉・江ノ島のよさは「自然と歴史を両方感じられること」だと思います。私はまず長谷寺に行き、本尊にある十一面観音菩薩像を見ました。高さが約九メートルもあり、黄金色に輝いていたため、これは昔の人たちも信仰するだろうなという「圧」を感じました。前の時代を生きていた人も同じものを見たのだと思うと感動しました。また本尊近くの観音ミュージアムにて、観音菩薩の33の変化を再現した大型の群像や、極楽の扉・地獄の扉というテーマの特別展示を鑑賞しました。そこで罪によってどの地獄の階層に落ちるかや、どんな罪の暴かれ方をするかが表された絵を見ました。表向きに「大勢の人が同時に生きるこの世の中で、できるだけ平和にお互い生きましょう。」とは言っていないまでも「人に思いやりを持って生きなければならないな」と誰に対してもそう思わせるようなメッセージを感じました。その後江ノ島へ行くために江ノ電に乗り、海岸線に沿って移動しました。実際に海の近くまでいき、とても久しぶりに磯の香りを嗅ぎ、五感使って自然を楽しむことができました。このように鎌倉・江ノ島では、歴史ある寺院や文化に触れるだけでなく、美しい海や自然も感じる事ができると知りました。